

NEW

ICT活用工事(導入型)

- ICT活用工事(導入型)とは、以下①～③のいずれかの要件を満たした土工を含む工事。
 ①全面活用型 ②ステップアップ型 ③ファーストステップ型

	全面活用型	ステップアップ型	ファーストステップ型
3次元起工測量	✓	✓ (単点計測技術) ※1	✓ (単点計測技術)
3次元設計データ作成	✓	—	—
ICT建設機械による施工	3DMCまたは3DMG建機	2DMG建機 ※2	—
3次元出来形管理等の施工管理	✓	✓	✓
3次元データの納品	✓	✓	✓

※1 以下(1)～(3)から選択して測量を行うものとする
 TS等光波方式を用いた起工測量 (2)TS(ノンプリズム方式)を用いた起工測量 (3)RTK-GNSSを用いた起工測量
 ※2 2DMG建設機械
 建設機械の作業装置の標高をリアルタイムに取得し、オペレーターが設定した基準面との標高差を表示することにより、建設機械の作業装置を誘導する2次元マシンガイダンス技術を用いて、河川・海岸・道路土工の敷均し、締め、掘削、法面整形を実施する。

国土交通省."建設施工・建設機械:要領関係等(ICTの全面的な活用)".ICT活用工事(導入型)実施要領.(参照 2026-03)

iDig
2Dなら
 マシンガイダンス



✓ 導入コストが **低い**

自動制御するマシンコントロールや、GNSS受信機・データ・技術者が必要な3Dシステムに比べ、導入コストが低い。

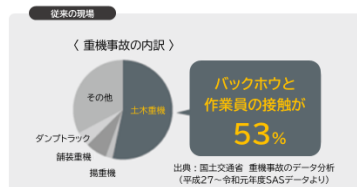
✓ ランニングコストが **低い**

人件費などのコストダウンに!
 オペレーター1人で正確に掘削し、無駄な燃料・余堀の削減になります。

専用重機は必要なし!
 センサーの載せ替えが簡単! 現場によって重機を使い分けたい方にピッタリ!

センサーの着脱が簡単!
 センサー間は無線接続のため断線などの故障の心配なし! 着脱パーで簡単に着脱可能。

✓ 安全性が **向上**



iDigのある現場

測量は掘削作業後のみ

iDigはキャビンから降りずに正確に掘削でき、測量は作業後に行うので、オペレーター1人で完結。検測員の立ち入りは必要なくなり、事故を回避。安心して作業できます。

高さアラーム機能

iDigは高さアラーム設定をすることでアラームを鳴らす機能があります。画面とLED表示機で警告ランプがつくので、オペレーターは認識しやすく接触の心配を低減。